

公募型プロポーザルによる旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがね設計
及び運営事業の優先交渉権者の決定について

令和4年8月22日

倉吉市長 広田 一恭

このことについて、令和4年4月28日付けで公告した旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがね設計及び運営事業（以下「本事業」という。）に係る公募型プロポーザルを実施した結果、次の共同企業体を本事業の優先交渉権者として決定しました。

記

1 優先交渉権者

流通・合銀・安本・戸田・ものりす共同企業体

（代表企業：流通株式会社 代表取締役 江原 剛）

2 次点交渉権者

無

3 優先交渉権者の選定理由

本事業の優先交渉権者の選定にあたり、専門的かつ多角的な視点で本事業の優先交渉権者を選定するため、建築設計や観光・宿泊業等の学識経験者等で構成した旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがね設計及び運営事業者選定審査委員会（倉吉市指定管理候補者選定委員会を兼ねる。以下「選定審査委員会」という。）を設置し、選定審査委員会に本事業の優先交渉権者の選定を諮問しました。

選定審査委員会においては、3回にわたり会議を開催され、本事業の受託を希望する共同企業体からの提案及び申請の内容を審査の上、優先交渉権者の選定に関して審議を重ねられました。

8月10日には、本市では初めてとなる公開ヒアリング審査も実施し、公開の場における審査も経た上で、8月19日に選定審査委員会から本事業の優先交渉権者として上記1の共同企業体を選定した旨の答申を受けたところです。

答申の中では、上記1の共同企業体の選定理由として、

- 関金の地域特性等を適正に把握した上で、代表企業の主要事業である運輸業や旅行業を活かし、県外からの観光客を誘致する具体的な事業計画が示されている。

- 事業の継続性を確保するため、地元金融機関の支援体制を構築している。
- 県内事業者で構成された共同企業体であることから、本事業による地域経済への効果も期待できる。

等が示されておりました。

また併せて、事業計画や収支計画の改善に向けた留意事項として、「本事業を通じた関金地域の持続的発展や本市の観光振興の具体化」、「客室面積と定員の妥当性と収支計画や指定管理料の適正化」等の5つの意見が付されておりました。

共同企業体からの提案内容と選定審査委員会からの意見を照らし合わせて熟考した結果、選定審査委員会の答申を尊重すべきと判断し、上記1の共同企業体を優先交渉権者として決定することとしたところです。

本事業に対する不安の声があることも承知していますが、選定審査委員会の答申にもあるように、更に実効性、持続性の高い事業計画や収支計画に改善し、磨き上げられる可能性が十分にあると判断しました。

関金地域の持続的発展に対する市民の期待に応えるため、これから本市と優先交渉権者との間で交渉、協議を開始し、旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがね再生プラン等を踏まえた本事業の推進に努めて参ります。

最後に、今回、本市が新たに導入した設計・監理－運営・維持のDO一括発注という手法に対し、積極的かつ前向きな姿勢で取り組み、短い準備期間で非常に丁寧に検討を行い、素晴らしい企画を御提案いただいた両共同企業体の皆様に対し、ここに厚くお礼申し上げます。